

## VIII 文化財保護

### 1 有形文化財

#### (1) 建造物

##### ①大宜味村役場旧庁舎 建造物保存修理（耐震診断）事業（大宜味村）

事業目的：重要文化財 大宜味村役場旧庁舎保存修理に向けた耐震診断事業

	令和4年度実績額（千円）	令和5年度実績額（千円）
所有者負担（村所有）	854	896
県補助額	318	326
国庫補助額	4,686	4,889
合計	5,858	6,111

##### ②建造物琉球漆喰・琉球赤瓦製作施工文化財保存技術（伝承）団体事業

事業目的：建造物塗装や赤瓦製造、瓦葺き技術の伝承者養成事業及び研修事業

	令和4年度実績額（千円）	令和5年度実績額（千円）
実施団体負担額	100	100
県補助額	—	—
国庫補助額	8,552	8,552
合計	8,652	8,652

##### ③重伝建 渡名喜村渡名喜島 伝統的建造物群基盤強化事業（渡名喜村）

事業目的：渡名喜島重要伝統的建造物群保存地区内の建造物保存修理

	令和4年度実績額（千円）	令和5年度実績額（千円）
所有者負担額	—	—
村補助額	1,229	658
県補助額	328	218
国庫補助額	5,249	3,503
合計	6,806	4,379

## (2)美術工芸

### ①琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：22,059千円（国 17,647千円、県1,318千円、市 3,094千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：那覇市

修復期間：令和5年4月21日～令和6年3月22日

修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈された文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、15年計画で実施する。

事業概要：前年に引き続き、修理作業に着手しているが、公開・活用に支障をきたす史料を優先して、繕い等の作業を中心に修理を行っている。

令和5年度は、国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類24冊の修理を行った。

実施体制：文化庁の保存修復方針、国宝修理装演師連盟に委託し、九州国立博物館内の修復工房で修復し、修復後は九州国立博物館で一般公開を行った。

### ②琉球芸術調査写真<鎌倉芳太郎撮影/>美術工芸品保存修理事業

事業総額：4,783千円（国 3,827千円、事業者 956千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：公立大学法人沖縄県立芸術大学

修復期間：令和5年4月11日～令和6年3月25日

修復目的：重要文化財「琉球芸術調査写真<鎌倉芳太郎撮影/>」のうち「一つ書一、ガラス原板」の資料は、沖縄の戦前の遺跡、建築、彫刻、絵画、工芸品などを撮影した1,268点の写真原版のことである。

今回、修理を行うガラス原板の被写体は、琉球王家ゆかりの文化財、首里、那覇の名家所蔵の絵画や工芸品、首里城や寺院といった建築物など、そのほとんどが戦争で消失したため、現在では本資料でのみ見ることができるものもあり、沖縄の文化、民俗、建築、歴史、祭祀等を知る貴重な資料である。

当該ガラス原板は撮影されてから100年近くが経ち、汚損や割れ、有害ガスやカビ等による劣化が進行していることから、公開・保存の観点からも緊急な修理を行う。

事業概要：本事業では、損傷の著しい資料を中心に修理やカビ等のクリーニング等を行う。

実施体制：修理手法策定および保存方法検討等においては専門家による修理検討委員会を設置し、会の指針に従い作業を行う。記録調査、汚れ除去、テープ除去、保存用具作製等の保存修理を実施する。

作業には、国の選定保存技術保存団体（装演修理技術）の認定技術者が従事する。

### ③中山世鑑 蔡鐸本中山世譜 蔡温本中山世譜 美術工芸品保存修理事業

事業総額：2,256千円（国 1,805千円、県 451千円）

事業種別：国庫補助事業（県直営）

事業主体：沖縄県

修復期間：令和5年4月27日～令和6年3月22日

修復目的：令和2年に国の重要文化財に指定された「中山世鑑 蔡鐸本中山世譜 蔡温本中山世譜」（3種類合計25冊）を文化庁の補助事業を活用して修理し、適切な保存管理を図り、将来的な保存及び公開活用等によって県の文化振興に寄与することを目的とする。

事業概要：本資料には、経年による染み、汚れ、カビ、虫損による欠失や過去の修理で施された虫損箇所の補修が見受けられる。修理作業では本紙の汚れ除去、欠失部分の補修を施して長期保存を図る。

実施体制：文化庁の保存修理方針及び文化財調査官（歴史資料部門）の監督・指導の下、古文書や日本画の修復・修繕に多くの実績を有している、石川堂に修理業務を委託し修復及び調査・記録・報告書の作成を行った。

### ④くろうるしぼたんしっぽうつなぎちんきんじきろう黒漆牡丹七宝繫沈金食籠修理

事業総額：2,672千円（県 801千円、事業者1,871千円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：一般財団法人沖縄美ら島財団

修復期間：令和5年8月17日～令和6年3月28日

修復目的：黒漆牡丹七宝繫沈金食籠とは、久米島に伝来する最古の琉球漆器とデザインや技術が類似しており、製作年代が16～17世紀の作品として推定できることから琉球漆器の初期の沈金技術の技法を知る重要な作品であり、平成18年に県指定有形文化財に指定された。令和元年の首里城火災により被災し、表面を覆っている漆が急速に劣化し、表面に無数のひび割れが起こっており、早急に修理する必要がある。修理後には公開を予定しており、文化財愛護について普及効果が期待され、琉球漆器の技術の移り変わりを証明する貴重な漆器を後世に伝えることが出来る。

事業概要：〈下地付け〉刻苧を重鎮した箇所に漆下地を施した。損傷箇所の状態を確認して、地の粉の粒子を適宜変え、乾固後、砥石で下地表面の形状を調整した。〈錆付け〉塗膜に錆漆を施し、剥落防止のための際処置を行った。

〈漆固め〉経年により劣化した漆塗膜は補強のため、漆固めを行った。

実施体制：火災によって損傷を受けた文化財の修理事例が極めて少ないため、首里城での被害調査から協力し、琉球漆器の修復・修繕に多くの実績を有している（株）目白漆芸文化財研究所での修理を実施する。

### (3) 銃砲刀剣類の登録

#### ① 沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

\* 沖縄県教育委員会委嘱(令和4年11月10日から令和6年11月10日)  
大嶺 信義(刀剣研究家)、上原 正人(刀剣研究家)、兼濱 昇(刀工)

#### ② 登録審査会

【登録審査会（新規登録及び現物確認審査）】

日 時: 第1回 令和5年12月22日(金) 10:00~16:45  
沖縄県立埋蔵文化財センター(2階 会議室・研修室)  
第2回 令和6年3月6日(水) 9:00~12:00  
(株)沖縄エンタープライズ(事務所 倉庫)  
審査件数: 第1回 15件(内訳: 刀9、脇差し5、短刀1)  
第2回 4件(内訳: 刀2、脇差し1、短刀1)  
登録証交付件数: 第1回(新規登録: 15件)  
第2回(新規登録: 4件)

#### ③ 新規登録申請件数及び登録件数

区 分	種 別	申請件数	登録件数	備 考
刀 剣	た ち	0	0	
	刀	11	11	
	わきざし	7	6	
	短 刀	3	2	
	や り	0	0	
	なぎなた	0	0	
古式銃砲	火 縄 銃	0	0	
	その他の古式	0	0	
合 計		21	19	

#### ④ 証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備 考
審査手数料(新規登録)	19	6,300 円/件	119,700 円	
審査手数料(再 交 付)	0	3,500 円/件	0 円	
制作承認手数料	0	800 円/件	0 円	
合 計			119,700 円	

#### ⑤ 登録を受けた銃砲刀剣類の譲り受け・貸付け・登録証再交付などの届出件数

種 別	銃砲類	刀剣類	計
譲り受け	0	10	10
相 続	0	0	0
貸 付 け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
登録証再交付	0	0	0
合 計	0	10	10

## 2. 無形文化財

### (1) 芸 能 (伝承者養成事業)

#### ① 重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額：9,069千円（国8,825千円、県109千円、保存会135千円）

実施内容：国補助による琉球舞踊保存会直営事業（会長：玉城秀子）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

研修趣旨：琉球舞踊の古典舞踊と雑踊について、それぞれの師匠の技を再現し、確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。

保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを旨とする。

内 容：古典女踊「本貫花」と雑踊「前之浜」について、各系統ごとに先達のわざを再現し、技術研修の成果を発表する。発表会を2日間開催した。

琉球舞踊の古典七踊の研修

ア システムの整理（琉球王国時代の御冠船踊りの芸統をひく7人の先達を基に整理）

現在の琉球舞踊保持者を中心に整理すると下記のとおり。 ※ 下線部は物故者

玉城盛重

- ①玉城盛義：玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、又吉静枝
- ②島袋光裕：島袋光晴、佐藤太圭子
- ③親泊興照：二代目親泊興照
- ④宮城能造：宮城能鳳
- ⑤真境名佳子：宮城幸子、喜納幸子
- ⑥真境名由康：真境名直子（2013年逝去のため、真境名結子と協議）

嵩原安詩

- ⑦比嘉清子：大城政子
- ⑧田島清郷：志田房子

伝承者を中心に整理すると下記のとおり。

新垣松含

⑨比嘉澄子 比嘉早苗

渡嘉敷守良

⑩児玉清子 二代目児玉清子・由利子 金城光子 二代目渡嘉敷守良

読谷山親雲上

⑪金武良章 安座間澄子 安座間明美

川平親雲上

⑫阿波連本啓 阿波連蘭子

屋我良勝

⑬山田貞子 山内小夜 山内喜美枝

※宮城能造：二代目宮城能造

田代タカ子：宮城美能留：宮城早苗・園美

玉城盛義：宇根伸三郎 ※波線は令和4年10月31日3次保持者認定

イ 研修方法

古典七踊りについては、現在の琉球舞踊保持者の技の源流である玉城盛重と嵩原安詩について、8（上記の①～⑧）グループに分ける。琉球舞踊保持者に担い手がいない読谷山親雲上、新垣松含、屋我良勝、川平親雲上、渡嘉敷守良の5人の師匠の技について5（⑨～⑬）に分けて研修を実施する。

実技研修に重きをおき、各分野より選ばれた選抜研修生（約58名）と、一般研修生（220名）にわける。

選抜研修生には選抜研修および11月の成果発表会への出演を課す。選抜研修は稽古着だが、成果発表会は衣装着用・拵えあり。

その他の一般研修は、9月の技能発表会にて保持者の前で課題演目の演舞を行う（稽古着・拵えなし）。

ウ 課題演目

令和5年度は、古典舞踊「本貫花」・雑踊「前之浜」

エ 研修回数

令和5年度は以下の3回の研修を行う。

a 選抜研修（5月20日・21日）※選抜者

b 技能発表会（9月23日・24日） ※全伝承者対象（選抜者をのぞく）

c 成果発表会（11月4日・5日） ※出演は選抜者

※衣装、化粧、道具等についても師からの教えを再現する。

#### オ 研修報告

a 選抜研修（5月20日・21日 会場：国立劇場おきなわ（小劇場）（浦添市））

令和5年度の選抜者（58人）を対象とした研修。全体を11グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。各自にて稽古ののち、この選抜研修にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。新型コロナウイルスが5類に移行したが、直後であったため、本研修時も伝承者は舞踊・地謡とも全員マスクを着用とした。

b 技能発表会（令和5年9月23・24日 会場：ていりる（ホール）（那覇市））

令和5年度の選抜者以外（230人）を対象とした研修。全体を16グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。各自にて稽古ののち、この技能発表会にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。本研修時も伝承者は舞踊・地謡ともに全員マスク着用、保持者も全日程参加に戻した。

c 成果発表会（令和5年11月4・5日 会場：国立劇場おきなわ大劇場（浦添市））

本年度の選抜者（58名）による成果発表会。衣裳・拵えをして1年の研修成果を披露する。新型コロナウイルス5類移行にともない、4年ぶりに一般公開を行った。

#### 一出演者名簿 課題 「本貫花」「前之浜」

○印が地謡リーダー ※太鼓は「前之浜」のみ出演

1日目選抜研修：5月20日（土）成果発表会：11月4日（土）

①舞踊：（玉城流玉扇会）金城七七代・石川智巳（玉城流七扇会）堀川和美

地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会）○新垣和則・内間清作・金城守明  
（箏）池間北斗（笛）仲田治巳（胡弓）玉那覇昌子（太鼓）天久祥

②舞踊：（玉城流扇寿会）池間隼人・金城真次

地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会）○新垣和則・内間清作・金城守明  
（箏）池間北斗（笛）仲田治巳（胡弓）玉那覇昌子（太鼓）天久祥

③舞踊：（島袋本琉紫の会）具志典子

地謡：（歌三線）（野村流保存会）○新垣俊道・仲村逸夫・金城勉・長嶺有哲  
（箏）白金晴香（笛）仲田治巳（胡弓）玉那覇昌子（太鼓）天久祥

④舞踊：（親泊本流親扇会）比嘉いずみ

地謡：（歌三線）（野村流保存会）○新垣俊道・仲村逸夫・金城勉・長嶺有哲  
（箏）白金晴香（笛）仲田治巳（胡弓）玉那覇昌子（太鼓）天久祥

⑤舞踊：（玉城流翔節会）平田弘子・松原和美

地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会①）○上原睦三・與那國太介・國仲貴光・松本紀  
（箏）米須弥生（笛）入嵩西諭（胡弓）石川清二（太鼓）金城安恵

⑥舞踊：（島袋流千尋会）末吉ヤスエ・（無憂華の会）山田玲子

地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会①）○上原睦三・與那國太介・國仲貴光・松本紀  
（箏）米須弥生（笛）入嵩西諭（胡弓）石川清二（太鼓）金城安恵

⑦舞踊：（宮城流美能留会）前田恵・中村知子（朱目琉）知花小百合・新城頼里子

地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会②）○又吉由美子・大城博子・田淵愛子・知念幸代  
（箏）糸数成美（笛）入嵩西諭（胡弓）石川清二（太鼓）金城安恵

⑧舞踊：（宮城本流）木村清美（阿波連本流啓扇会）阿波連京子

（玉城流敏風会）城間末子（玉城流喜納の会）西村綾織  
地謡：（歌三線）安富祖流絃聲会②）○又吉由美子・大城博子・田淵愛子・知念幸代  
（箏）糸数成美（笛）入嵩西諭（胡弓）石川清二（太鼓）金城安恵

⑨舞踊：（宮城本流鳳乃會）照屋由紀乃・謝名堂奈津

地謡：（歌三線）（野村流音楽協会）○儀保明美・長嶺ルーシー・伊良波ゆかり・村上佳子  
（箏）香取美恵子（笛）桶川美晴（胡弓）伊禮薫（太鼓）金城睦昭

⑩舞踊：（重踊流）志田真木

地謡：（歌三線）（野村流音楽協会）○儀保明美・長嶺ルーシー・伊良波ゆかり・村上佳子  
（箏）香取美恵子（笛）桶川美晴（胡弓）伊禮薫（太鼓）金城睦昭

⑪舞踊：（宗家眞境名本流眞薫会）仲田弥生子・仲宗根千秋（松含流）比嘉智香子

地謡：（歌三線）（野村流保存会）○玉城悟・大城聖・花城康喜  
（箏）香取美恵子（笛）桶川美晴（胡弓）伊禮薫（太鼓）金城睦昭

## ②選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額：7,209千円（国7,000千円、県100千円、保存会109千円）

実施方法：国・県補助による組踊道具・衣裳製作修理保存会直営事業

事業主体：組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

事業期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

場 所：各技術者の工房

事業内容：道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことはできない。

1 道具：組踊道具の製作をした。技術者4名で、伝承者7名を指導した。  
合計590回の研修を行った。

- (1) 講 師：金城裕幸 平田智之 上原じゅん子 新垣孝  
(2) 伝承者：佐渡山也子 金城小百合 宮城優子 城間貞光  
平田恵乃 江洲のぶ子 比嘉建秀

2 衣裳：組踊衣裳の製作をした。技術者1名で、伝承者1名を指導した。  
合計40回の研修を行った。

- (1) 講 師：嘉手納タケ子  
(2) 伝承者：満名苗子

3 技能・技術の錬磨：作品・素材・技術（舞台公演を含む）を見学し、それぞれの知識を高め、作品・技術に反映させた。

## ③重要無形文化財「組踊」伝承者養成事業

事業総額：12,094千円（国11,826千円、県133千円、保存会135千円）

実施方法：国補助による一般社団法人伝統組踊保存会直営事業

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

研修の目的：伝承者に実技研修と教養講座（座学）を実施し技芸のさらなる向上を図る。  
保持者は、伝承者の技量向上に資するように指導に努める。

基本方針：1 実技指導は、当会会員である保持者が行う。座学講座については、外部講師の招聘も考慮する。

2 立方、地謡に色々な役柄を与え、将来の指導者としての資質・能力を養うように指導する。

3 補助事業における伝承者は、20～30代の若手と中堅層をもって編成する。  
今年度は、伝承者55名（立方22名、地謡33名）を対象に実施する。

4 指導計画を策定し、日々の研修・稽古を重視して技能向上を最重点に置く。

5 座学講座、実技研修の成果の確認は成果発表会を実施して行う。

研修内容：1 実技研修

- (1) 実技研修演目は、朝薫の五番（「護佐丸敵討」「執心鐘入」「女物狂」「銘苅子」「孝行の巻」）と「手水の縁」「万歳敵討」「花売の縁」「雪払い（真境名本）」「賢母三遷之巻」。

(2) 前期、後期各15回の研修実施。年間二演目を研修。

2 座学

座学は、琉球の歴史、芸能史、組踊の歴史的背景、組踊に関する事項、組踊と他の伝統芸能の比較等。全6回講座実施。

3 成果発表会：国立劇場おきなわ大劇場

前期は令和5年9月24日（日）「執心鐘入」

後期は令和6年2月11日（日）「雪払い」

## ④県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額：960千円（県554千円、保存会406千円）

実施方法：県補助による琉球歌劇保存会直営事業（会長：高宮城実人）

事業内容：伝承者研修を実施し研修成果発表会を開催した。

事業期間：令和5年6月29日（木）～令和6年3月28日（木）

研修期間：令和5年6月29日（木）～令和5年12月20日（水）

場 所：浦添市産業振興センター・結の街 沖縄県男女参画センターていりる ほか

研修会：座学1回、実技指導9回、研修成果発表会

座学講話者：平良進、崎山律子

実技指導（保持者）：瀬名波孝子、平良進、宮里良子、高宮城実人、赤嶺啓子、宮城武碩

参加者（伝承者）：知念亜希、伊波留依、上原崇弘、奥平由依、廣山えりか、新垣勝夫、平敷勇也、安次嶺正美、高井賢太郎、山内昌太、伊禮門綾、上間朝子、伊藝武士、金城光子、玉城敦子、仲吉茜、宇座仁一、福島千枝、知花小百合、西村悦子、平田晴香、大城由紀子、嘉陽田早苗、島袋浩大、棚原健太、山里進、村上佳子、知念勝三、大城幸雄、金城清徳、仲本亜寿香、上江洲静香、上原和哲、池間北斗、桶川美晴、具志美詩乃、金城裕幸、新垣正弘、高里風花、糸数きよし、嘉陽田朝裕、與那國太介、新垣俊道、仲村逸夫、浜川恵子、入嵩西論、中村志津子、嘉数道彦、荒川博敏、平良芽美、石垣茉柚、上原千賀子、上間悦子、玉城匠、宮城早苗、長嶺ルーシー、大城建太郎、石川弥生、澤井每里子

### ⑤ 県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額：343千円（県100千円、保存会243千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業（会長：玉城利和）

事業内容：野村流の正しい継承と発展及び芸能文化の向上を図ることを目的とし、会員（保持者、伝承者）を対象に大昔節や昔節の歌三線を中心に研修会を実施した。

事業期間：令和5年8月10日～令和5年12月25日

#### (1) 研修会

回	開催日時	開催場所	人数	研修内容
1	9/9(土) 13:30～15:30	西原町 社会福祉 センター	40人	①かぎやで風節（口上あり）・ご縁節・こてい節②茶屋節・すき節③本田名節・真福地之はいちやう節・揚高禰久節④作田節之踊⑤天川節之踊⑥高平良萬歳之踊
2	11/25(土) 13:30～15:30		69人	

(2) 指導者（保持者）：金城タケ子、山城暁、仲村春善、中村一雄、金城幸浩、仲宗根盛次

### ⑥ 県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額：294千円（県97千円、保存会197千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業（会長：西江喜春）

事業内容：年間事業計画により伝承者養成事業を毎月1回開催し、保持者が指導を行っている。

研修会は10回開催した。また文化的知識を深め資質の向上を図る目的に講師を招聘し、特別講演会を1回実施した。

事業期間：令和5年5月28日～令和6年3月25日

(1) 研修会 毎月1回 第4日曜日 午前10時～正午

(2) 特別講演会（保持者・伝承者研修）

① 日 時：令和5年11月26日（日） 午前11時～正午

② 講 師：茂木仁史氏（芸術学博士）

③ 講話内容：「御冠船踊と琉球の花火」

④ 場 所：結の街 大研修室

(3) 指導者：西江喜春、玉城正治、濱元盛爾、照喜名進

回	開催日	内容・開催場所
1	5/28(日)	5月定例研修会(真玉橋公民館2F) 芸能コンクール課題曲、50周年記念公演斉唱曲(保持者:暁節、瓦屋節 伝承者:東細節、赤さこはでさ節、あがさ節)
2	6/25(日)	6月定例研修会(真玉橋公民館2F) 芸能コンクール課題曲、50周年記念公演斉唱曲(保持者:暁節、瓦屋節 伝承者:東細節、赤さこはでさ節、あがさ節)
3	7/23(日)	7月定例研修会(真玉橋公民館2F) 芸能コンクール課題曲、50周年記念公演斉唱曲(保持者:暁節、瓦屋節 伝承者:東細節、赤さこはでさ節、あがさ節)
4	8/27(日)	8月定例研修会(真玉橋公民館2F) 芸能コンクール課題曲、50周年記念公演斉唱曲(保持者:暁節、瓦屋節 伝承者:東細節、赤さこはでさ節、あがさ節)



5	9/24(日)	9月定例研修会(真玉橋公民館) 50周年記念公演斉唱曲(保持者:暁節、瓦屋節 伝承者:東細節、赤さこはでさ節、あがさ節)
6	11/26(日)	伝承者養成研修会(午前10時～午前10時45分 結の街 大研修室) 特別公演(午前11時～正午) 講師:茂木仁史(芸術学博士) 演題:「御冠船踊と琉球の花火」
7	12/24(日)	50周年記念公演斉唱曲(保持者:暁節、瓦屋節 伝承者:東細節、赤さこはでさ節、あがさ節)
8	令和6年 1/28(日)	1月定例研修会(真玉橋公民館)、50周年記念公演斉唱曲 令和5年度 師範・教師課題曲(師範:昔蝶節、仲村渠節 教師:諸鈍節、仲風節)
9	2/25(日)	2月定例研修会(真玉橋公民館)、50周年記念公演斉唱曲 令和5年度 師範・教師課題曲(師範:昔蝶節、仲村渠節 教師:諸鈍節、仲風節)
10	3/24(日)	3月定例研修会(真玉橋公民館)、50周年記念公演斉唱曲、保持者による指導及び研修総括

### ⑦県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額:286千円(県95千円、保存会191千円)

実施方法:県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業(会長:野里葉子)

事業内容:保持者の指導により研修会を実施した。

事業期間:令和5年6月10日～令和6年3月31日 完了

研修会:第1回 令和5年7月8日(土) 72名参加

第2回 令和5年10月25日(水) 80名参加

第3回 令和5年12月9日(土) 45名参加

第4回 令和6年2月4日(日) 77名参加

場 所:国立劇場おきなわ 大稽古室

指 導 者:野里葉子、赤嶺和子、安慶名久美子、具志堅道子、米須幸子

講 演 会:令和6年2月4日(日)

場 所:国立劇場おきなわ 大稽古室

講 師:人間国宝 中村一雄

### ⑧県指定無形文化財「沖縄伝統音楽湛水流」伝承者養成事業

事業総額:42千円(県21千円、保存会21千円)

実施方法:県補助による沖縄伝統音楽湛水流保存会(会長:渡久山春憲)

事業内容:保持者の指導により研修会を実施した。

事業期間:令和5年12月8日～令和6年3月26日 完了

(1)湛水流伝統保存会系

日時:令和6年2月29日(木) 19:00～21:00 場所:首里公民館

講師(保持者):上里平三、渡久山春憲、宮城康明

受講生(伝承者):7名

(2)琉球古典音楽湛水流保存会系

日時:令和6年3月20日(水) 10:00～11:30 場所:国立劇場おきなわ 大稽古室

講師(保持者):島袋英治、渡慶次哲三、高江洲昌和、城間盛秋、山内昌也

受講生(伝承者):8名

## (2) 芸 能 (組踊等普及啓発事業)

### ①組踊特別鑑賞会(全国公演)・・・国庫補助事業

事業総額:30,592千円(国27,753千円、県999千円、保存会1,840千円)

趣 旨:全国各地で重要無形文化財「組踊」を鑑賞する機会を設け、その一層の普及・伝承を図り、併せて開催地の芸術文化活動、文化財保護活動に資するため、本特別鑑賞会を開催する。

普及公演:組踊を広く一般に周知するため、全国6カ所で公開した。

事業主体:一般社団法人 伝統組踊保存会

実施方法:国・県補助による保存会直営事業

事業期間：令和5年4月2日～令和6年3月31日

事業内容：組踊1題、琉球舞踊4題を上演し、組踊の概要等を県教育庁文化財課指導主事が解説した。字幕を投影し、演目解説書を観客に配布した。

開催地、開催日時及びプログラムは次のとおりである。

第1部 琉球舞踊：「老人老女」（かぎやで風）・「若衆踊」（若衆こてい節）  
「二才踊」（下り口説） ・「女踊」（天川）

第2部 組踊：「執心鐘入」、「花売の縁」「護佐丸敵討」「万歳敵討」から1つ

開催日	開催地	演目
7月29日(土)	福岡県太宰府市 プラム・カルコア太宰府（中央公民館）（400人）	執心鐘入
8月20日(日)	広島県庄原市 庄原市民会館（400人）	花売の縁
10月1日(日)	静岡県下田市 下田市民文化会館（600人）	護佐丸敵討
10月15日(日)	秋田県鹿角市 鹿角市文化の杜交流館（600人）	執心鐘入
10月29日(日)	岡山県勝央町 勝央文化ホール（350人）	護佐丸敵討
11月19日(日)	愛知県知立市 パティオ池鯉鮒（知立市文化会館）（500人）	万歳敵討

## ②「児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会」組踊・沖縄芝居ワークショップ業務委託・・・県単独事業

事業総額：1,553千円

趣 旨：児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、組踊等沖縄伝統芸能の県内への普及啓発を図るとともに、若手実演家の活動機会を増やすことによって、後継者の育成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、丸正印刷株式会社に事業委託

実演団体：女流組踊研究会 めばな、ステージサポート沖縄

事業内容：ワークショップ（組踊・沖縄芝居）の実施

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

### ア 組踊ワークショップ実施校（参加人数）

#### ①南風原町立北丘小学校（小5：159人）

日 時：令和5年10月4日（水）10:20～12:00

場 所：学校体育館

立 方：金城 佳子、西村 綾織、仲嶺 夕理彩、宮崎 花澄

地 謡：大城貴幸（三線・箏）、宮里和希（太鼓）、瀬良垣幸男（胡弓・笛）

#### ②浦添市立当山小学校（小4：158人）

日 時：令和5年12月4日（月）9:35～11:20

場 所：学校体育館

立 方：金城佳子、玉城 知世 伊佐 幸子 新里 春加

地 謡：平良大（三線・笛）、宮里和希（太鼓）、瀬良垣幸男（箏、胡弓）

#### ③本部町立伊豆見小中学校（小1・2・3・4・5・6・中1・2・3：87人）

日 時：令和5年12月11日（月）13:50～15:30

場 所：学校体育館

立 方：金城佳子、伊佐幸子、玉城知世、宮崎花澄

地 謡：大城貴幸（三線・箏）、平良大（三線・笛）、瀬良垣幸男（太鼓、胡弓）

### (3) 工芸技術

#### ① 重要無形文化財の伝承者養成事業

##### ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,618千円（国 7,000千円、県 309千円、村 278千円、保存会 31千円）

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会（会長：平良美恵子）

事業内容：

##### (1) 伝承者養成事業

① 技能保持者6名と修了生4名が講師を務め、受講生8名を対象に個々人の熟練度に応じた技術指導を実施した。

1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧炊き・苧引き、3) 苧績み、4) 緋結び・染色、5) 撚り掛け、6) 整経、7) 製織、8) 洗濯、9) 畑清掃

講師：富眞廣子、金城悟、山川チズ子、宮城涼子、辺土名加代子、前田明子  
山城雪枝、平良美恵子

伝承者：神谷美香、座喜味ゆり香、平良清美、山城薫、孔智賢、金城武治、平良雅志  
橋本恵美

事業期間：令和5年4月1日～令和6年3月28日

場所：大宜味村立芭蕉布会館

② 良質の糸芭蕉を確保するため、芭蕉畑除草の委託を行った。

##### (2) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

##### イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,535千円（国 8,000千円、県 267千円、市 251千円、保持団体 17千円）

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体（代表者：新里玲子）

事業内容：

##### (1) 伝承者養成事業

図案・手括り（講師1名、伝承者4名）、染色（講師1名、伝承者2名）、織り-1（講師1名、伝承者1名）、織り-2（講師1名、伝承者1名）、織り-3（講師1名、伝承者1名）、の3部門において講習を実施した。

講師：下地達雄（図案・手括り）、平良清子（染色）、島袋朝子（織り）

伝承者：小禄有美子（図案・手括り）、與那嶺ひとみ、高良恵（以上、染め）  
荷川取ひろみ（織り）

実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月29日

場所：講師工房／下地達雄工房、平良清子工房、宮古市伝統工芸品センター  
荷川取ひろみ工房

##### (2) 原材料・用具の確保事業

苧麻糸関係者会議を開催した。

##### (3) 関連技術事業

経糸講座（講師1名、受講者4名）、緯糸講座（講師1名、受講生4名）にて苧麻績み講座を開講した。

##### (4) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

##### ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,226千円（国 8,000千円、県 113千円、町 54千円、保持団体 59千円）

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：桃原稔子）

事業内容：

##### (1) 伝承者養成事業

1 養蚕、絹糸作り、糸つむぎ、真綿作り、図案作成、染色の伝承者養成講座（事業）を実施した。

2 養蚕は、5名の講師で伝承者及び桑の葉の取り方から上蔭まで毎日5～6回の桑の葉の与

- え方や、上簇の時期等の講習を行った。
- 3 絹糸作り、糸つむぎ、真綿作りは、各5名の講師で傳承者にケンネル（座繰り機）等での糸作り、真綿からの糸ひき、撚糸機の撚りかけ方等の講習を行った。
  - 4 図案作成は、5名の講師で傳承者に講習を行い、染色は、8名の講師で泥染め技術の講習を行った。
  - 5 資料収集整理事業として、資料調査データを収集し、パソコン等で整理を行った。
  - 6 技術研究事業として、古い久米島紬の調査を行い、技術研究を行った。
  - 7 原材料・用具の確保事業として、養蚕に必要な桑畑の管理を行った。
  - 8 久米島紬アーカイブ動画及びPR動画の作成を行った。
  - 9 講師：イ) 養蚕：①我那覇ケイ子、②桃原稔子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子  
ロ) 絹糸作り：①我那覇ケイ子、②桃原稔子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子  
ハ) 真綿作り：①我那覇ケイ子、②桃原稔子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子  
ニ) 糸つむぎ：①我那覇ケイ子、②桃原稔子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子  
ホ) 図案：①我那覇ケイ子、②桃原稔子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子  
ヘ) 染色：①桃原 子、②宮平トシ子、③幸地綾子、④高坂エミ子、⑤山城宗太郎、⑥宮平登美子、⑦宇江城ヤス子、⑧新垣勝秀
  - 10 傳承者：①平田とき子、②山城智子、③古堅ヨシエ、④神里智江、⑤儀間勝枝、⑥佐久田康子、⑦仲地洋子、⑧毛利玲子
  - 11 事業期間：令和5年4月3日～令和6年3月31日
  - 12 場 所：久米島紬の里ユイマール館
- (2) 原材料・用具の確保  
養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。
- (3) その他  
文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

## ② 選定保存技術の傳承者養成事業

### ア) 選定保存技術「苧麻糸手績み」傳承者養成事業

事業総額：10,281千円（国10,000千円、県140千円、保存会141千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：宮古苧麻糸手績み保存会（会長：漢那明美）

事業期間：令和5年4月1日～令和6年3月29日

場 所：宮古島市、多良間村の各講師宅および公民館等

事業内容：

#### (1) 傳承者養成事業

- ① 初級講習として、宮古上布の原料となる苧麻の収穫から、整経までの5工程を18教場（平良11、下地2、上野3、伊良部1、多良間1）において講師のべ14名、研修生のべ77名で実施した。研修の内容は以下の通り。  
1) 苧麻刈り取りおよび苧麻引き、2) 苧麻裂き、3) 苧麻績み、4) 撚りかけ、5) かし掛け
- ② 中級講習として、ブーンミコース（緯糸）、撚り掛けコース、10ヨミコース（経糸）を実施した。受講者は4名であった。
- ③ 栽培・ブー引きコースを開設し、苧麻の刈取りなど畑での実習を実施した。受講者は4名であった。
- ④ 自由に参加できるぶーんみ講座を20回開催し、講習修了者の継続や研修生候補発掘の場を設けた。受講者は、延べ35名であった。

#### (2) 研修発表事業

宮古島市歴史文化資料館にて、研修成果発表として第14回苧麻糸展示会を開催した。

#### (3) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施し、補助事業の各項目について事務調整等を行った。

### イ) 選定保存技術「手機製作」技術錬磨及び記録作成刊行事業

事業総額：1,487千円（国1,106千円、保持者381千円）

実施方法：国補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政（保持者）

事業内容：手機製作は、手織り用の木製の機（織機）を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手機（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手機製作の記録を作成し、刊行するための編集会議などを開催した。

事業期間：令和5年4月1日～令和6年3月29日

場 所：大城織機製作所

ウ) 選定保存技術「琉球藍」伝承者養成事業

事業総額：6,539千円（国6,000千円、町400千円、保存会139千円）

実施方法：国・町・保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会（会長：髙原安彦）

事業期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

① 5月下旬～7月初旬は製藍技術の研修を行い、1月から植え付け準備を始め、2月～3月にかけて植え付け作業を行った。その他の時期は灌水・除草・施肥等の肥培管理作業に従事したが、秋の収穫を行わない製造所は9月頃に植え付け準備を行い、10月後半から11月にかけて藍草の植え付けを行った。

② 場所 講師の各工房

③ 講師 仲西利夫・比嘉良松・荒木瑞江・上間守・池原幹人

④ 伝承者 加藤直也・澤野孝・森洋治・坂田伸治

(2) 研修事業

久米島紬事業協同組合や町内の染織作業場を見学し交流を図った。

(3) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

エ) 選定保存技術「建造物琉球漆塗・琉球赤瓦製作施工文化財保存技術」伝承者養成事業

事業総額：8,652千円（国8,552千円、保存会100千円）

実施方法：国補助による保存会直営事業

事業主体：一般財団法人 沖縄美ら島財団

事業期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

場 所：那覇市、与那原町、八重瀬町、沖縄美ら島財団（那覇事務所）、八幡瓦工場、西建設事務所ヤード

事業内容：伝承者養成事業は漆による外壁塗装、瓦製作と瓦漆喰施工の3つに分けて行った。

(1) 3分野 共通講義

i 講義1：沖縄の建築と技術

ii 講義2：琉球王国文化遺産集積・再興事業について

iii 講義3：文化財概論と保存修理概論

iv 講義4：首里城正殿復元事業について

(2) 漆による外壁塗装

i 講義1：漆器の文化保存修復について

ii 講義2：色彩文化財の修復について

iii 講義3：建造物塗装基礎 一日光の伝統的建築における塗装について—

iv 実習1：髹漆実習（工程手板製作実習）—ニービを使った下地塗りなど琉球髹漆行程—

v 実習2：建造物色彩【桐油色彩】—桐油を用いた彩色実習・纏縹彩色—

vi 実習3：建造物塗装基礎 一日光の伝統的建築における塗装について—

vii 見学：保存修理現場見学 —藤井漆工藝株式会社・日光東照宮—

(3) 瓦製作・瓦漆喰施工 共通講義

i 講義1：沖縄の瓦の歴史

ii 講義2：伝統瓦基礎 —日本の瓦葺きの基礎及び琉球赤瓦の独自性について—

iii 講義3：瓦の材料・製作 —赤瓦の製作に関する基礎知識—

(4) 瓦製作

i 実習1：赤瓦伝統製作技術【前期】—赤瓦の伝統的製作技術（成形まで）—

ii 実習2：赤瓦伝統製作技術【後期】—赤瓦の伝統的製作技術（焼成まで）—

iii 見学：保存修理現場見学 —日本伝統瓦技術保存会・山本瓦工業・元興寺・東大寺—

(5) 瓦漆喰施工

- i 実習 1 : 赤瓦葺き基礎一瓦選別、墨出し等瓦葺き一
- ii 実習 2 : 赤瓦漆喰塗基礎【下塗り】一節塗、腹塗等漆喰塗一
- iii 実習 3 : 赤瓦漆喰塗上級編【上塗り】一軒の仕上げ塗等の上級者用塗一
- iv 見 学 : 保存修理現場見学 一日本伝統瓦技術保存会・山本瓦工業・元興寺・東大寺一

### ③ 沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

#### ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426 千円（県 320 千円、保存会 106 千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会（代表：城間榮順）

事業内容：本年度は、古びん型から学ぶことをテーマに、型紙を使用して染めるびん型を伝統技法に基づきながら、創作柄の帯を染めた。

- ① 開講式(保持者とその伝承者が参加して、事業の趣旨を十分に理解した)
- ② 古典柄を参考に下絵を作成した。
- ③ 染地型紙・白地型紙を彫った。
- ④ 彫った型紙を使用して型を置き、色差しをした後、模様を糊で伏せ(ビンウシー)地染めを行った。
- ⑤ 閉講式(作品についての講評等)

講 師：城間榮順、知念積元

伝 承 者：阿嘉美佐子、加治工撰、知念積文

事業期間：令和 5 年 11 月 24 日～令和 6 年 3 月 22 日

場 所：保持者工房

#### イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：345 千円（県 259 千円、保存会 86 千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会（代表：多和田淑子）

事業内容：「ムルドッチリ」全工程（意匠設計～製織）の技術指導を祝嶺恭子の工房において実施した。各工程については次のとおりである。

- (1)資料研究(2)意匠設計(3)糸精練(4)経糸糊付け(5)経糸繰返し(6)経緋糸整経
- (7)糊付け張り伸ばし(8)マシン(9)経緋括り(10)経糸染色(11)経緋解き
- (12)緋配列張り伸ばし(13)仮箆通し(14)経巻き(15)綜統通し(16)箆通し
- (17)織り付け(18)緯緋小綴あげ(19)緯緋括り(20)緯緋緯糸染色(21)緯緋解き
- (22)緯糸小管巻き(23)製織(24)整理仕上げ

講 師：祝嶺恭子

伝 承 者：野里愛子、比嘉麻南

事業期間：令和 5 年 9 月 1 日～令和 6 年 12 月 28 日

場 所：保持者工房

#### ウ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額：426 千円（県 320 千円、市 60 千円、保存会 46 千円）

実施方法：県・市補助による保存会直営事業

事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）

事業内容：今年度は、3 か所の工房で補助事業を実施した。中村澄子の工房では、捺染による着尺の指導を行った。

新垣幸子の工房では、昨年度獲得した技法をもとに、細やかな経ずらしの図案を書き、経糸を括り染色し、巻き込み、機乗せ、緯糸を括り染色し織り上げまで行った。苧麻畑は天候にも恵まれ、収穫量にも恵まれた。

松竹喜生子の工房では、花織で 2 枚綜統に取り組んだ。花緋の花綜統通し、本数に記をつけながら、時間をかけ慎重に織ることを心がけた。

講 師：中村澄子、新垣幸子、糸数江美子、平良蓉子、松竹喜生子

伝 承 者：中村雪江、崎原克友、松竹未来

事業期間：令和 5 年 9 月 1 日～令和 6 年 1 月 31 日

場 所：各保持者工房

### 3. 民俗文化財

#### (1) 民俗文化財

##### ① 沖縄本島及び周辺離島における民俗芸能 民俗文化財調査事業

事業総額：1,644,519 円（国 1,315,000 円、県 329,519 円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：令和5年4月1日から令和6年3月29日

事業目的：沖縄本島及び周辺離島においては、各地域で豊作に感謝し予祝を行う豊年祭等の祭り・行事が行われているが、社会生活が変容していく中で行われなくなった地域も少なくない。また、その中で演じられる民俗芸能については、これまで体系的な調査が少なく近年変容も見られる中で、時期を逸すると各地域の伝統行事で演じられる民俗芸能の特色を明らかにする調査が行えなくなる恐れがある。よって、沖縄本島及び周辺離島に伝承されている民俗芸能の実態を把握し、その特色を明らかにするために、民俗芸能・民俗学の視点から悉皆調査及び詳細調査を実施し、民俗文化財の保護・活用と文化財保護施策推進、並びに地域文化の振興に資する調査報告書を刊行する。

実施場所：沖縄本島及び周辺離島

実施概要：主に旧暦6月～9月に行われる豊年祭等で演じられる民俗芸能について、調査票作成による基礎調査（悉皆調査）と調査対象地区への現地調査による詳細調査を行った。

調査員：久万田 晋（沖縄県立芸術大学教授）

萩尾 俊章（沖縄民俗学会会長）

照屋 理（名桜大学教授）

遠藤 美奈（沖縄県立芸術大学准教授）

阿利 よし乃（沖縄国際大学講師）

高江洲 敦子（沖縄国際大学非常勤講師）

稲福 政斉（沖縄国際大学・沖縄大学非常勤講師）

調査協力員：4名

##### ② ウイピャームトゥ保存修理事業

事業総額：1,936,000 円（県 581,000 円、宮古島市 1,355,000 円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：宮古島市

事業期間：令和5年11月20日から令和6年3月26日

事業目的：県指定有形民俗文化財「ウイピャームトゥの祭場」3棟は、現在でも集落の祭祀に利用されている。平成30年度の台風により茅葺き屋根がき損している状態であったため、3棟のうち、ウイウスムトゥの垂木及び茅葺き屋根の葺き替えを行い、台風対策のために防風ネットを敷設した。

##### ③ 神アサギ茅葺き屋根の葺き替え等保存修理事業

事業総額：2,590,500 円（県 777,000 円、伊是名村 1,813,500 円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：伊是名村

事業期間：令和5年12月9日から令和6年3月29日

事業目的：県指定有形民俗文化財「伊是名村仲田の神アサギ附宅地」の茅葺き屋根が腐食により崩れて  
いたため、リュウキュウチク、竹、藁縄を用い、伝統的な工法で茅葺き屋根の葺き替えを行  
った。

② 第65回九州地区民俗芸能大会（県単独補助事業）

事業総額：1,347,360円（県500,000円、市423,680円、団体423,680円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：我如古スンサーミー保存会（宜野湾市）

大会名称：第65回九州地区民俗芸能大会

開催期日：令和5年11月19日（日）

開催場所：アクロス福岡 イベントホール（福岡県福岡市）

派遣芸能：スンサーミーという芸能の名称は、スンサーミ節の歌の囃子「スンサーミー、スンサーミー」に  
よる。踊り手は、舞台下手から一列になって舞台に登場し、スンサーミ節のウタモチ（歌の伴  
わない前奏部分）に合わせて反時計回りに円を描いていく。スンサーミ節では、伴奏の唄三線  
のほかにも踊り手が踊りながら四つ竹を二拍毎に打つ。円が整うと、スンサーミ節に合わせ、両  
手に持つ四つ竹を打ち鳴らし、その手を左右にこねるような仕草や、上下させる仕草を繰り返  
しながら前進する。体の使い方は、基本的には腰をひねらず、面全体で右を向いたり左を向い  
たりする。スーラキ節と今帰仁節では四つ竹を用いず、スンサーミ節が終わると踊り手は四つ  
竹を懐に収め、手踊りとなる。また、曲の途中で踊り手は囃子を入れる。踊りは輪踊りで左廻  
り。旋回をしたり、両手をあげたりする所作がある。我如古スンサーミーでは、スンサーミ節  
とスーラキ節で、楽曲の一番毎に体の動きが左右対称となっている。

「スンサーミ節」の一番の「今年作（くとうしちく）たる米（めー）やしし玉ぬ如（ぐとー）  
さ」は豊穰を願う豊年予祝の歌詞であり、三番の「三月（さんぐわち）になりば心（くくる）  
浮かさりてい」の歌詞からは、女性達の心躍る様子がうかがわれる。「スンサーミ節」の歌詞  
や伝承等から、かつて我如古区では八月の豊年祭で演じていた「スンサーミー」が、女性達に  
よるサングワチャーに組み込まれたうえ、「三月になりば心浮かさりてい」の歌詞が付け加え  
られた可能性もある。

出演演目

	芸 能 名	出演団体
1	竹の曲	「竹の曲」保存会
2	チャンココ	下大津青年団
3	三川内神楽	三川内神楽保存会
4	沖端舟舞台囃子	沖端舟舞台囃子保存会
5	伊与床神楽	深山流伊与床神楽五柱神社神楽社
6	屋久島の如竹踊り	如竹踊り保存会
7	我如古スンサーミー	我如古スンサーミー保存会
8	曾根崎の獅子舞	曾根崎町古典芸能保存会
9	上荒尾熊野座神社神楽	上荒尾熊野座神社神楽保存会



## 4. 記念物

### (1) 史跡・名勝・文化的景観

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝を含む）、国登録の登録記念物、国選定の文化的景観、県指定の史跡・名勝の件数は合計131件（令和6年5月1日現在）である。令和5年10月20日には与那国町の天然記念物及び名勝「サンニヌ台」が追加指定の答申を受け令和6年2月21日に官報告示となった。今後も貴重な文化財の適切な保存・活用を図るために、指定等文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県指定文化財を中心に進めている。令和5年度は史跡の「中城城跡」、「識名園」で史跡等保存活用計画策定事業を実施した。史跡「中城城跡」は保存活用計画策定書を刊行した。

歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業は、史跡「中城城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「伊礼原遺跡」、「内間御殿」、「北大東島燐鉱山遺跡」、「先島諸島火番盛」、「アマミクヌムイ（越来グスク）」、「斎場御嶽」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、「円覚寺跡」、「宇江城城跡（災害復旧）」、「浦添城跡」、「具志川城跡」、「勝連城跡」、「糸数城跡」、「糸数城跡（石垣調査）」、「知念城跡」、「中城ハンタ道」及び名勝「伊江殿内庭園」で実施したが、このうち史跡「伊礼原遺跡」、「アマミクヌムイ（越来グスク）」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」及び名勝「伊江殿内庭園」は事業を令和6年度に繰り越しをした。なお、事業を令和5年度に繰り越しで実施した史跡「知念城跡」、「中城ハンタ道」は事業を完了した。文化的景観保護推進事業は、重要文化的景観「北大東島の燐鉱山由来の文化的景観」、「今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観」を実施した。史跡等買上事業は、史跡「佐敷城跡」、「山田城跡」、「下田原城跡」、「先島諸島火番盛」で直接買上を実施した。名勝地調査では嘉手納町の「屋良ムルチ」が報告書を刊行した。その他、県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」では保存修理事業を、県指定史跡「ミントングスク」では管理事業を実施した。

#### ①国庫補助事業

##### ア) 史跡等保存活用計画策定事業

- a) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等保存活用計画策定事業  
事業主体：中城村  
事業経費：2,698,368円（国2,158,000円、村540,368円）  
事業内容：○会議を4回実施し、保存活用計画を策定・刊行した。
- b) 事業名：特別名勝「識名園」史跡等保存活用計画策定事業  
事業主体：那覇市  
事業経費：2,681,790円（国2,145,000円、市536,790円）  
事業内容：○会議を2回実施し、中間報告をまとめた。

##### イ) 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業

- a) 事業名：史跡「知念城跡」歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業（繰越）  
事業主体：南城市  
事業経費：19,933,866円（国15,922,000円、県108,000円、市3,903,866円）  
事業内容：○史跡整備事業報告書刊行に向けた資料整理を実施した。  
○西側城壁保存修理工事設計及び根固め工事を含めた西側城壁保存修理工事・工事監理を実施した。  
○知念城跡整備整備委員会を2回実施した
- b) 事業名：史跡「中城ハンタ道」歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業（繰越）  
事業主体：中城村  
事業経費：19,155,776円（国15,324,000円、県86,000円、村3,745,776円）  
事業内容：○発掘調査及び発掘調査報告書刊行に向けた資料整理を実施した。  
○工事の実施設計・施工監理委託、道の整備工事請負を実施した。
- c) 事業名：史跡「中城城跡」歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：中城村  
事業経費：25,055,741円（国20,044,000円、県599,000円、村4,412,741円）

- 事業内容：○南の郭北側外壁沿いの転石撤去及び遺構確認調査を実施した。  
○一の郭北西隅城壁の積み直し工事及び、その実施設計・施工管理業務委託を実施した。  
○発掘調査報告書刊行に向け、資料整理を実施した。  
○過年度の発掘調査で出土した金属製品の保存処理を実施した。  
○中城城跡整備委員会を2回実施した。
- d) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：今帰仁村  
事業経費：2,540,110円（国2,032,000円、村508,110円）  
事業内容：○今帰仁阿応理屋恵火之神祠復元工事設計を委託で実施した。  
○今帰仁城跡附シイナ城跡調査整備委員会を1回実施した。
- e) 事業名：史跡「内間御殿」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：西原町  
事業経費：3,626,896円（国2,901,000円、県0円、町725,896円）  
事業内容：○東江御殿石牆（北東側一帯）の保存修理工事実施設計を委託で実施した。  
○内間御殿整備委員会を4回実施した。
- f) 事業名：史跡「北大東島燐鉱山遺跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：北大東村  
事業経費：6,094,830円（国4,875,000円、県144,000円、村1,075,830円）  
事業内容：○遺跡保存状況調査を委託で実施した。  
○北大東島燐鉱山遺跡整備委員会を2回実施した。
- g) 事業名：史跡「先島諸島火番盛」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：竹富町  
事業経費：12,565,286円（国10,052,000円、県300,000円、町2,213,286円）  
事業内容：○小城盛の石積み積直し工事と写真測量業務を委託で実施した。  
○大岳に標柱・案内板設置を工事請負で実施した。  
○先島諸島火番盛整備委員会を3回実施した。
- h) 事業名：史跡「斎場御嶽」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（令和4年度補正繰越）  
事業主体：南城市  
事業経費：6,609,609円（国5,287,000円、県157,000円、市1,165,609円）  
事業内容：○整備基本設計（排水施設整備、三庫理の来訪者用歩道整備、御門口の急傾斜な石畳の階段整備、ウローカー階段改修）を委託で実施した。  
○樹木伐採を実施した。  
○斎場御嶽整備委員会を3回実施した。
- i) 事業名：史跡「円覚寺跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：沖縄県  
事業経費：38,976,220円（国31,180,000円、県7,796,220円）  
事業内容：○三門本体の上層22箇所の斗栱の製作並びに、木鼻、実肘木の彫刻を請負で実施した。  
○工事に係る監理を委託で実施した。
- j) 事業名：史跡「宇江城城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（災害復旧）  
事業主体：久米島町  
事業経費：5,311,966円（国4,515,000円、町796,966円）  
事業内容：○一の郭城壁解体工事設計を委託で実施した。  
○崩落石材回収・集積工事を実施した。  
○宇江城城跡整備委員会を1回実施した。
- k) 事業名：史跡「浦添城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：浦添市  
事業経費：25,188,199円（国20,057,000円、県599,000円、市4,532,199円）  
事業内容：○第Ⅱ整備地区の復元整備に先立って城壁復元箇所の岩盤調査を実施した。  
○過年度の発掘調査遺物の資料整理作業を実施した。  
○浦添城跡整備委員会を1回実施した。

- l) 事業名：史跡「具志川城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：久米島町  
事業経費：6,412,155円（国5,129,000円、県153,000円、町1,130,155円）  
事業内容：○三の郭の修復に向け、岩盤の亀裂状況のレーザー測量・図化業務を委託で実施した。  
○具志川城跡整備委員会を1回実施した。
- m) 事業名：史跡「勝連城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：うるま市  
事業経費：11,801,321円（国9,441,000円、県282,000円、市2,078,321円）  
事業内容：○東の曲輪から南風原御門の範囲において遺構確認の発掘調査を実施した。  
○東の曲輪の整備基本計画の策定を委託で実施した。  
○勝連城跡整備委員会を4回実施した。
- n) 事業名：史跡「糸数城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：南城市  
事業経費：31,690,888円（国25,352,000円、県757,000円、市5,581,888円）  
事業内容：○北のアザナの展望台設置工事を実施した。  
○整備事業報告書を刊行した。  
○発掘調査報告書刊行に向け、資料整理を実施した。  
○糸数城跡整備委員会を2回実施した。
- o) 事業名：史跡「糸数城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業（石垣調査）  
事業主体：南城市  
事業経費：26,897,041円（国21,419,000円、県640,000円、市4,838,041円）  
事業内容：○整備済の北のアザナから西のアザナのレーザー測量を実施した。  
○南のアザナから正門付近の立面図を作成した。
- p) 事業名：史跡「知念城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：南城市  
事業経費：10,635,117円（国8,508,000円、県254,000円、市1,873,117円）  
事業内容：○西側城壁斜面地の遺構調査と石積形態調査・設計業務を委託で実施した。  
○過年度調査の資料整理を実施した。  
○知念城跡整備委員会を2回実施した。
- q) 事業名：史跡「中城ハンタ道」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業  
事業主体：中城村  
事業経費：12,668,069円（国10,134,000円、県302,000円、村2,232,069円）  
事業内容：○昨年度の続きで部分において、道舗装の実設計及び工事を実施した。  
○法面の鉄筋挿入工事及び擁壁工事を実施した。  
○遺構確認のため発掘調査を実施した。  
○発掘調査報告書の発刊にむけて資料整理を実施した。  
○中城ハンタ道整備委員会を2回実施した。

#### ウ) 文化的景観保護推進事業

- a) 事業名：北大東島の燐鉱山由来の文化的景観保護推進事業  
事業主体：北大東村  
事業経費：10,975,282円（国8,780,000円、村2,195,282円）  
事業内容：○拠点エリア整備基本計画書を刊行した。  
○式六荘の現状調査を委託で実施した。  
○北大東島の燐鉱山由来の文化的景観整備委員会を2回、その他ワーキング部会、住民向けワークショップを各1回実施した。
- b) 事業名：今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観保護推進事業  
事業主体：今帰仁村  
事業経費：5,951,121円（国4,746,000円、村1,205,121円）  
事業内容：○集落西側のフクギ台帳作成及びフクギの植栽管理を委託で実施した。

○住民ワークショップを3回、講演会を1回実施した。

エ) 史跡等土地買上事業

- a) 事業名：史跡「佐敷城跡」史跡等買上（直接買上）事業  
事業主体：南城市  
事業経費：21,046,028円（国16,836,000円、市4,210,028円）  
買上実績：2,128.0㎡ 3筆
- b) 事業名：史跡「山田城跡」史跡等買上（直接買上）事業  
事業主体：恩納村  
事業経費：15,136,499円（国12,109,000円、村3,027,499円）  
買上実績：4,272.0㎡ 9筆
- c) 事業名：史跡「下田原城跡」史跡等買上（直接買上）事業  
事業主体：竹富町  
事業経費：4,768,272円（国3,814,000円、町954,272円）  
買上実績：10,039.0㎡ 10筆
- d) 事業名：史跡「先島諸島火番盛」史跡等買上（直接買上）事業  
事業主体：石垣市  
事業経費：3,760,000円（国3,008,000円、市752,000円）  
買上実績：2,506.0㎡ 1筆

オ) 名勝地調査

- a) 事業名：屋良ムルチ名勝調査  
事業主体：嘉手納町  
事業経費：3,753,120円（国3,000,000円、町753,120円）  
事業内容：測量、文献調査、聞き取り調査をまとめた報告書を刊行した。

②県補助事業

ア) 史跡・名勝保存修理事業

- 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業  
事業主体：那覇市  
事業経費：654,500円（県180,000円、市474,500円）  
事業内容：○石の欠損や沈下部分を既存の石畳に準ずる工法、材質及び寸法等で保存修理を実施した。

イ) 管理事業

- 事業名：県指定史跡「ミントングスク」管理事業  
事業主体：南城市  
事業経費：100,000円（県50,000円、市50,000円）  
事業内容：○県指定史跡「ミントングスク」の適切な保存と活用を図るため、指定地内の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者への委託で実施した。

## (2) 天然記念物

### ①天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：平久保のヤエヤマシタン天然記念物再生（平久保のヤエヤマシタン）

事業総額：3,278千円（国2,622千円、県163千円、石垣市493千円）

事業主体：石垣市

事業期間：令和5年4月1日～令和6年3月28日

事業目的：ヤエヤマシタンはマメ科に属する高木種で、石垣市平久保の自生地が我が国における分布の北限を示し、そこでは2本の古い巨木が指定されている。しかしその自生地において、シタンヒメヨコバイやシロアリによる被害があり、放置すると枯死する可能性があるため、害虫駆除と併せて樹勢回復のための土壌改良を行った。

### ②天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：首里金城の大アカギ天然記念物再生（首里金城の大アカギ）

事業総額：3,526千円（国2,693千円、県168千円、那覇市665千円）

事業主体：那覇市

事業期間：令和5年8月7日～令和6年2月29日

事業目的：首里金城の大アカギは樹齢200年以上と推定される5本の大木群であり、平成29年度に簡易的な樹勢の診断業務を行ったところ、良好な状態ではないことが判明した。そのため、樹木医の診断のもと樹勢回復を目的とした土壌改良を実施した。

### ③史跡等保存活用計画策定事業（国庫補助事業）

事業名：伊平屋島のウバメガシ群落保存活用計画策定（伊平屋島のウバメガシ群落）

事業総額：3,207千円（国2,400千円、伊平屋村807千円）

事業主体：伊平屋村

事業期間：令和5年4月12日～令和6年3月21日

事業目的：令和3年に指定された国指定天然記念物「伊平屋島のウバメガシ群落」の保存活用計画を策定するため、令和4年度から5年度にかけて策定委員会を設置し保存方法や活用方法等を整理した。その結果令和6年3月に天然記念物伊平屋島のウバメガシ群落保存活用計画を作成した。

### ④史跡等保存活用計画策定事業（国庫補助事業）

事業名：慶佐次湾のヒルギ林保存活用計画策定（慶佐次湾のヒルギ林）

事業総額：2,925千円（国2,320千円、東村605千円）

事業主体：東村

事業期間：令和5年4月12日～令和6年3月21日

事業目的：慶佐次湾のヒルギ林は昭和34年に琉球政府指定天然記念物に指定され、昭和47年に祖国復帰に伴い国指定天然記念物に指定された。近年、陸地化や外来生物の侵入により天然記念物の劣化が懸念されたことから、東村では外来種除伐を実施した。今後も外来種侵入防止や陸地化対策、その他保全利活用について取組を推進するための計画を策定する。

### ⑤天然記念物環境整備事業（県補助事業）

事業名：宮古馬保存環境整備事業（宮古馬）

事業総額：3,693千円（県1,107千円、宮古島市2,586千円）

事業主体：宮古島市

事業期間：令和6年2月21日～令和6年3月31日

事業目的：沖縄県指定天然記念物「宮古馬」の保存管理のため、柵及び牧場餌場の設置及び管理用道路を整備した。

## 5. 埋蔵文化財

埋蔵文化財は、全国各地の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない、国民共有の貴重な歴史的財産である。沖縄県には現時点で約 4,000 箇所が確認されており、旧石器時代から近代に至る時期の貝塚や集落跡、古墓、グスク、さらには水中遺跡や戦争遺跡等、その種別は多岐にわたる。埋蔵文化財は他の文化財同様、文化財保護法による保護対象となっており、その規定により各種手続き、処理が行われる。

令和 5 年度の開発事業計画地域内の「埋蔵文化財の所在の有無」の照会・協議は 32 件あり、開発行為を行う際に事前に当該市町村教育委員会と連絡・調整を行うこと、工事の際に埋蔵文化財が確認された場合には速やかに当該市町村教育委員会へ連絡し指示に従うこと、と意見を提出している。

周知の埋蔵文化財包蔵地（以下包蔵地）内での民間工事に伴う 93 条及び公共事業に伴う 94 条の届出は 99 件であった。回答の内訳は、慎重工事 34 件、工事立会 45 件、発掘調査 19 件、工事立会・発掘調査 1 件となっている。また、このうち米軍基地に関連する届出は 11 件あり、うち 5 件は発掘調査の回答とした。また市町村別の内訳では、名護市 29 件、那覇市 14 件、宮古島市・糸満市 8 件、南城市 6 件、宜野湾市 5 件、竹富町・豊見城市 4 件、沖縄市・西原町 3 件、国頭村・北谷町・浦添市・与那原町 2 件、大宜味村・本部町・恩納村・読谷村・嘉手納町・北中城村・八重瀬町・石垣市 1 件であった。

96 条及び 97 条に係る遺跡発見届及び通知は 5 件である。これに対する措置は、慎重工事 2 件、工事立会 0 件、発掘調査 3 件となった。

102 条に係る埋蔵物の監査及び文化財認定は 42 件であった。

107 条に係る出土文化財の譲与申請は 9 件であった。

92 条第 1 項に係る発掘調査の届出は 3 件であった。

99 条第 1 項に係る発掘調査の報告は 33 件であった。調査目的の内訳は、各種開発に伴うものが 26 件、保存目的の範囲内容確認調査 5 件で、学術研究を目的とした調査は 2 件であった。調査主体者の内訳は、名護市教育委員会が 5 件、那覇市文化財課・北中城村教育委員会が 4 件、沖縄県立埋蔵文化財センター・宜野湾市教育委員会・北谷町教育委員会が 3 件、沖縄県立博物館・美術館・石垣市・浦添市が 2 件、大宜味村教育委員会・今帰仁村教育委員会・沖縄市教育委員会・嘉手納町教育委員会・与那原町教育委員会が 1 件である。

その他、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が毎年開催する文化財担当者専門研修については、研修参加は 9 件（うちオンライン参加 4 件）となった。鉱業法第 24 条の規定に基づく協議は 0 件であった。

沖縄県内における令和 5 年度の埋蔵文化財専門職員数は 104 名であり、平成 20 年度以降で一番多い数となっている（図 1）。発掘調査件数の推移では、工事届出が前年度より 9 件減の 84 件、試掘・確認調査件数は令和 3 年度と比べ 11 件の減の 102 件となっている（図 2）。発掘調査経費の合計は平成 28 年度以降、年度毎に増減を繰り返す傾向が続いている。また、米軍基地関係の発掘調査経費も同様な増減を繰り返しており、発

掘調査経費の増減に米軍基地関係の調査経費が影響を与えていると考えられる。

試掘・確認調査は前年度より微減、保存目的は令和2年度からほぼ横ばい、遺跡整備目的の調査経費は令和3年度と比べやや増となっている。

図1 沖縄県内埋蔵文化財担当職員数の推移（単位：人）

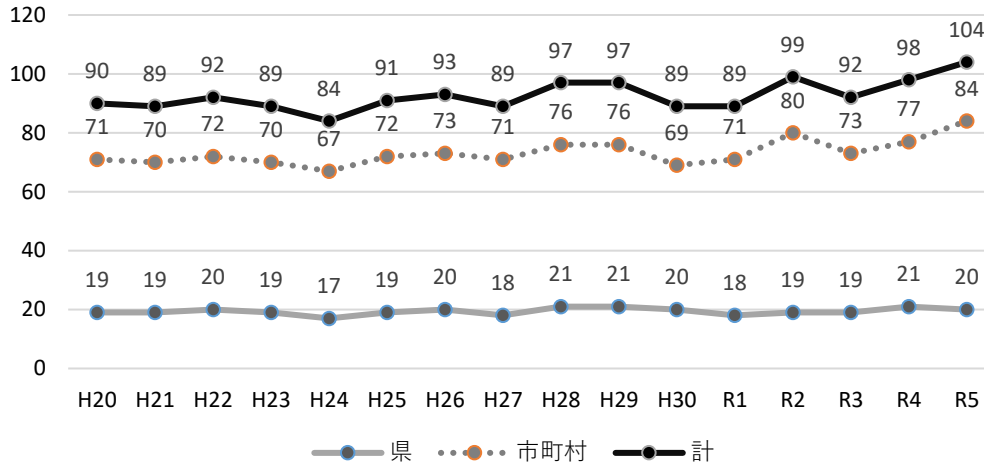


図2 沖縄県内における発掘調査件数の推移（単位：件）

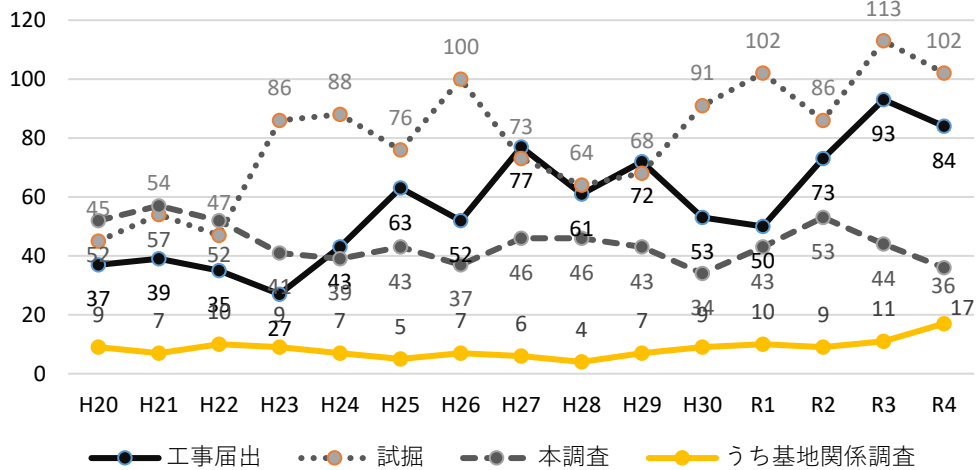
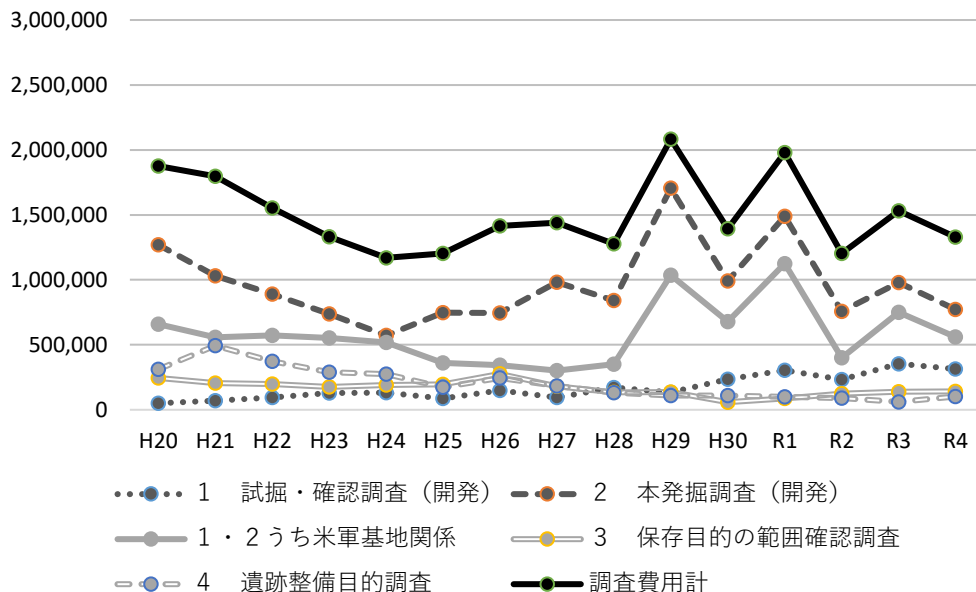


図3 沖縄県内の発掘調査経費の推移（単位：千円）





(1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

項目 No.	所在地	開発等の種別	照会者	回答内容（所在文化財）
1	うるま市石川ほか	農業振興地域整備計画変更の事前協議	沖縄県農林水産部 農政経済課長	近接地に東恩納白土原遺物散布地が所在。
2	うるま市勝連南風原	運動場	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	近接地に周知の埋蔵文化財が所在。
3	名護市・今帰仁村・恩納村・金武町・伊是名村	土地利用基本計画の変更（森林地域の縮小）	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	アギギタラ貝塚（伊是名村）が隣接。
4	恩納村字前兼久マガイ原	コンドミニアム	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	周知の埋蔵文化財包蔵地外。
5	八重瀬町字具志頭志保土原	公園墓地	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	周知の埋蔵文化財包蔵地外。
6	竹富町南風見ほか	農業振興地域整備計画変更	沖縄県農林水産部 農政経済課長	近接地に周知の埋蔵文化財が所在。
7	南城市大里字大城上原	駐車場	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	周知の埋蔵文化財包蔵地外。
8	八重瀬町字外間後原豊見城市字金良東原	駐車場	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	周知の埋蔵文化財包蔵地外。
9	嘉陽地先及び辺野古地先の海域	サンゴ類の生息環境確認調査	沖縄県土木建築部長	近接地に嘉陽海岸遺物散布地、長崎兼久遺物散布地が所在。
10	嘉陽・古宇利・安田・辺戸海域	ジュゴンの生息域における生息状況監視調査	沖縄県土木建築部長	近接地に奥の採石場、奥川河口遺物散布地、嘉陽海岸遺物散布地が所在。
11	糸満市・うるま市・東村・名護市・宜野座村・国頭村・今帰仁村	土地利用基本計画の変更（農業地域の縮小、森林地域の拡大・縮小、自然公園地域の拡大・縮小）	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	真栄里兼久原遺跡・川田原貝塚（糸満市）、瀬嵩の猪垣・大浦崎収容所跡（名護市）、辺土名兼久遺物散布地（国頭村）、古宇利グスク・渡喜仁浜原貝塚（今帰仁村）が所在。西長浜原遺跡・崎原遺跡（今帰仁村）が隣接。
12	西原町字幸地ほか	西原農業振興地域整備計画	沖縄県農林水産部 農政経済課長	周知の埋蔵文化財包蔵地が隣接及び確認されている箇所がある。
13	中城村字伊集ほか	中城農業振興地域整備計画	沖縄県農林水産部 農政経済課長	周知の埋蔵文化財包蔵地が隣接及び確認されている箇所がある。
14	座間味村阿佐、座間味	座間味村農業振興地域整備計画変更	沖縄県農林水産部 農政経済課長	周知の埋蔵文化財包蔵地が隣接及び確認されている箇所がある。
15	中城村字屋宜浜原	開発行為許可申請	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	周知の埋蔵文化財包蔵地外。
16	宜野座村字漢那安田根又原	農産物栽培のための畑地	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	周知の埋蔵文化財包蔵地外。

## (2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	真志喜グスクヌハナ古墓群、真志喜グスクヌハナ遺跡、真志喜陣地壕戦跡	宜野湾市	沖縄県土木建築部 沖縄県中部土木事務所長	その他開発（急傾斜地崩壊対策）	工事立会
2	屋部貝塚	名護市	名護市長	その他の開発（農地への原状回復）	工事立会
3	慶来慶田城遺跡	竹富町	個人	住宅	慎重工事
4	仲村渠集落内遺物散布地	南城市	個人	住宅	工事立会
5	第3新城大牧の古墓群	宮古島市	宮古島市農林水産部 農村整備課長	農業関連	慎重工事
6	高安後原古墓群	豊見城市	個人	住宅	慎重工事
7	中城御殿跡	那覇市	沖縄県土木建築部 南部土木事務所長	道路	工事立会
8	喜舎場西原近世墓群	北中城村	沖縄防衛局長	住宅	発掘調査
9	下里添更竹の壕跡	宮古島市	(株) エム・シー・シー 代表取締役社長	その他開発（人工衛星受信施設）	発掘調査
10	屋部貝塚	名護市	個人	その他建物（共同住宅）	慎重工事
11	美謝川集落関連遺跡群	名護市	沖縄防衛局長	その他開発（ボーリング調査）	慎重工事
12	新城下原第二遺跡、伊佐後原第二遺跡、喜友納下原第三遺跡、新城上殿遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他（水路）	工事立会
13	屋部貝塚	名護市	個人	その他建物（学童保育所）	慎重工事
14	溝原貝塚	名護市	個人	住宅	慎重工事
15	安和貝塚	名護市	個人	住宅	工事立会
16	饒平名シマヌハー御嶽遺跡群	名護市	個人	住宅	工事立会
17	具志川森グスク	本部町	個人	農業関連	工事立会
18	東兼久原貝塚	名護市	タクトホーム株式会社 代表取締役	住宅	慎重工事
19	シーガーアブ	糸満市	沖縄土石工業株式会社 代表取締役	その他開発（仮設道路・付帯工事）	工事立会
20	稲福遺跡（山グスク）	南城市	個人	住宅	慎重工事
21	大城森の壕	糸満市	糸満市長	その他開発（坑道充填）	慎重工事
22	第3新城大牧の古墓群	宮古島市	宮古島市農林水産部 農村整備課長	農業関連	発掘調査
23	屋部貝塚	名護市	個人	その他の建物（共同住宅）	慎重工事
24	天王寺跡	那覇市	宗教法人日本基督教団首里協会	その他の開発（石垣修復）	慎重工事
25	翁長原遺物散布地（A地点）	豊見城市	個人	住宅	慎重工事

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
26	谷田遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
27	崇元寺跡	那覇市	那覇市長	その他開発 (建物解体)	工事立会
28	平良原古墓群	与那原町	個人	その他開発 (墓建設)	工事立会
29	東辺名グスク (旧野戦病院 壕)	糸満市	NPO法人沖縄戦没者遺 骨協議会	その他開発 (遺骨収 容)	工事立会
30	真喜屋阿社義遺物散布地	名護市	個人	その他建物 (出荷 場)	工事立会
31	中城御殿跡	那覇市	沖縄県土木建築部 首里城復興課長	道路	工事立会
32	与那覇遺跡	宮古島市	個人	住宅	慎重工事
33	正徳原古墓群	北谷町	沖縄防衛局長	その他建物	発掘調査
34	首里旧金城村跡	那覇市	那覇市長	道路	発掘調査
35	当山宗地原遺跡	浦添市	合資会社あんど 代 表者	その他開発	発掘調査
36	安谷屋古馬上原近世墓群	北中城村	沖縄防衛局長	住宅	発掘調査
37	兼久中原遺跡	嘉手納町	第718施設中隊施設管 理部環境保全課長	その他建物 (駐車場 の新設)	発掘調査
38	城岳古墓群	那覇市	那覇市長	その他開発 (遺骨収 集作業)	工事立会
39	小城盛遺跡	竹富町	竹富町長	道路	工事立会
40	溝原貝塚	名護市	名護市長	道路	慎重工事
41	安和貝塚	名護市	個人	宅地	工事立会
42	翁長喜納ヌ殿散布地	西原町	個人	宅地	工事立会
43	真喜屋阿社義遺物散布地	名護市	名護市長	道路	工事立会
44	フガヤ遺跡	名護市	振慶名区長	その他開発 (散策道 整備)	工事立会
45	大浦崎収容所跡	名護市	沖縄防衛局長	その他開発 (在沖米 軍施設)	工事立会 発掘調査
46	伊武田原古墓群	与那原町	個人	墓地	工事立会
47	越来原遺跡	沖縄市	(株)飯田産業 代表 取締役	住宅	工事立会
48	越来原遺跡	沖縄市	(株)こちホーム 代表取締役	住宅	工事立会
49	思原長佐久遺物散布地	名護市	沖縄防衛局長	その他開発 (ポーリ ング調査)	慎重工事
50	上村遺跡	竹富町	竹富町長	道路	慎重工事

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
51	瀬洲村跡遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
52	城間第二洞穴遺跡	浦添市	戸田建設株式会社執行役員 副社長・戦略事業本部長	その他建物（倉庫）	発掘調査
53	天界寺跡	那覇市	沖縄県土木建築部首 里城復興課長	その他建物（首里城 公園管理センター）	工事立会
54	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	宅地	慎重工事
55	大又遺跡	名護市	沖縄防衛局長	その他開発（汚水配 水管設置）	慎重工事
56	大又遺跡、思原長佐久遺物散 布地	名護市	沖縄防衛局長	その他建物（郵便 局）	慎重工事
57	高摩文仁グスク、摩文仁司令部壕跡、沖縄 師範健児之塔付近の壕跡（健児隊の壕）	糸満市	国際ボランティア学 生協会	その他開発（遺骨収 集）	工事立会
58	中城御殿跡	那覇市	沖縄県土木建築部 首里城復興課長	その他建物（公園施 設）	工事立会
59	翁長喜納ヌ殿散布地	西原町	個人	住宅	慎重工事
60	辺土名兼久遺物散布地	国頭村	株式会社 親川不動 産 代表取締役	住宅	発掘調査
61					
62	久志貝塚	名護市	名護市長	道路・河川	慎重工事
63	新里東元島遺跡	宮古島市	株式会社ユニマットプ レシヤス代表取締役	道路	発掘調査
64	白保貝塚	石垣市	個人	その他の開発（個人 住宅兼共同住宅）	発掘調査
65	旧海軍司令部壕	那覇市	特定非営利活動法人 空援隊理事長	その他の開発（遺骨 収集）	工事立会
66	大宜味遺物散布地	大宜味村	個人	住宅	慎重工事
67	越来原遺跡	沖縄市	個人	住宅	工事立会
68	宜野湾並松街道、神山黒数原古 墓群、大山岳之佐久原第四遺跡	宜野湾市	沖縄防衛長	その他開発（豚舎の 補修・整備）	工事立会
69	真志喜製立原古墓群	宜野湾市	個人	住宅	発掘調査
70	美謝川集落関連遺跡群	名護市	沖縄防衛局長	その他の開発（在沖 米軍基地）	慎重工事
71	垣花集落内遺物散布地	南城市	個人	住宅	工事立会
72	西村跡	那覇市	個人	住宅	発掘調査
73	湧田古窯跡	那覇市	沖縄県知事	その他建物（危機管 理センター）	発掘調査
74	新城B遺跡	八重瀬町	個人	住宅	慎重工事
75	久志貝塚、久志古島遺跡	名護市	沖縄県土木建築部 北部土木事務所長	道路	工事立会

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
76	安和与那川原遺跡	名護市	名護市長	農業関連	発掘調査
77	松崎馬場跡	那覇市	沖縄県知事	その他建物（公衆トイレ）	工事立会
78	屋部貝塚	名護市	株式会社アーネストワン 代表取締役	宅地造成	慎重工事
79	高摩文仁グスク	糸満市	金光教那覇協会	遺骨収集	工事立会
80	首里司令部壕跡（第32軍司令部壕と周辺遺跡）	那覇市	沖縄県知事	その他開発（公園整備）	工事立会
81	仲間遺跡	糸満市	SYDボランティア友の会 会長	遺骨収集	工事立会
82	東辺名グスク（防疫給水部隊壕周辺）	糸満市	特定非営利活動法人 JYMA 日本青年遺骨収集団理事長	遺骨収集	工事立会
83	瀬長古島遺跡	豊見城市	東急株式会社 取締役社長	その他開発（駐車場整備）	慎重工事
84	砂辺サーク原遺跡	北谷町	個人	その他建物（賃貸住宅）	工事立会
85	真志喜ノロ殿内祭祀遺跡	宜野湾市	真志喜区自治会 会長	その他開発（土地造成）	工事立会
86	ウガンヒラー北方遺跡	読谷村	沖縄防衛局長	その他の開発（隊舎の整備）	工事立会
87	中城御殿跡	那覇市	沖縄県知事	公園造成	工事立会
88	翁長原遺物散布地（A地点）	豊見城市	個人	住宅	工事立会
89	川上遺跡	名護市	個人	住宅	工事立会
90	新里澤川原遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
91	ンブフル遺跡	竹富町	竹富町長	道路	工事立会
92	安室散布地No.1	西原町	株式会社ローソン沖縄 代表取締役	その他建物（店舗）	慎重工事
93	仲栄真グスク	南城市	株式会社カミヤサービス 代表取締役	住宅	慎重工事
94	池間皿嶺散布地	宮古島市	堀岡康二建築計画事務所	宅地造成	発掘調査
95	サマーズ御嶽遺跡	宮古島市	山根鉄構建設株式会社代表取締役社長	住宅	慎重工事
96	新里澤川原遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
97	与那覇遺跡	宮古島市	That's Valuemen in Miyako 株式会社 代表取締役	住宅	発掘調査
98	安富祖村内原遺跡	恩納村	個人	住宅	工事立会

### (3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

項目No.	発見地	遺跡名	届出・通知者	原因	措置状況
1	沖縄県石垣市真栄里宮島326番1	真栄里宮島トーチカ跡	(株)サンエー 代表取締役社長	その他開発	発掘調査
2	沖縄県宮古島市城辺字長間2311	長間大田の古墓群、長間大田の陣地壕	沖縄県農林水産部 宮古農林水産振興センター所長	土木工事中(土地改良事業不発弾探査中)	発掘調査
3	沖縄県中頭郡西原町字幸地上山原1331-1	幸地上山原遺物散布地	合資会社沖縄関ヶ原石材代表	土木工事中(墓造営)	慎重工事
4	沖縄県那覇市繁多川一丁目346-1、345-6	ハカチグワァースメー(墓地小前) 古墓	沖縄県警察本部長	土木工事中(交番の建設)	発掘調査
5	沖縄県八重山郡竹富町竹富77	野原遺跡	竹富町長	土木工事中(墓地造成)	慎重工事

### (4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

項目No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	野国後原遺跡A地点(嘉手納飛行場内)	R3.3.15～ R3.10.19	嘉手納町教育委員会	沖縄防衛局(占有者)	土器片、石器片、陶磁器片、サンプル土 {75箱}	嘉手納町教育委員会
2	南風田原遺跡	R5.3.8	竹富町教育委員会	竹富町個人	土器、石器 {1箱}	竹富町教育委員会
3	島仲村遺跡	R4.12.23～ R5.3.6	与那国町教育委員会	個人	陶磁器、瓦及び土器類、石器、自然遺物他 {2箱}	与那国町教育委員会
4	北谷町字北谷1186番地他11筆(キャンプ瑞慶覧内)	R4.11.10～ R5.3.31	北谷町教育委員会	沖縄防衛局長	陶磁器類(沖縄産陶器・本土産磁器等)、陶質土器、蔵骨器(厨子)、自然遺物(貝等) {11箱}	北谷町教育委員会
5	前原遺跡(キャンプ瑞慶覧基地内)	R.4.11.9～ R5.3.15	北谷町教育委員会	沖縄防衛局長	土器、陶磁器類(中国産陶磁器、沖縄産陶器、本土産磁器等)、食料残渣(貝殻、動物骨など) {11箱}	北谷町教育委員会
6	勝連城跡	R4.10.1～ R5.1.31	うるま市教育委員会	うるま市長	土器、陶磁器類、鉄製品など {15箱}	うるま市教育委員会
7	浦添城跡	R4.11.22～ R5.3.27	浦添市教育委員会	浦添市長 沖縄県知事	陶磁器、瓦、土器、動物遺体など {18箱}	浦添市教育委員会
8	嘉陽上グスク	R3.9.16～ R5.3.31	名護市教育委員会	嘉陽区個人	土器、石器、陶磁器等 {15箱}	名護市教育委員会
9	糸数城跡	R4.9.7～ R4.10.7	南城市教育委員会	南城市市長	陶磁器、土器、獣骨等 {1箱}	南城市教育委員会
10	宜野湾古集落	R5.4.4	宜野湾市教育委員会	沖縄防衛局長	鉄鍋 {1箱}	宜野湾市教育委員会
11	ミントングスク隣接地	R5.4.13	南城市教育委員会	個人	自然遺物、陶磁器、鉄製品等 {1箱}	南城市教育委員会
12	宜野湾古集落(普天間飛行場)	R5.5.15	宜野湾市教育委員会	沖縄防衛局長	沖縄産無釉陶器、赤瓦、本土産陶磁器、金属製品 {1箱}	宜野湾市教育委員会
13	喜舎場西原近世墓群	R4.12.1～ R5.3.31	北中城村教育委員会	沖縄防衛局長	厨子甕、陶磁器 他 {17箱}	北中城村教育委員会
14	沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場地内	R4.8.10～ R5.3.31	北中城村教育委員会	沖縄防衛局長	陶磁器、厨子甕 他 {2箱}	北中城村教育委員会
15	浦添城跡	R4.10.3～ R5.3.31	浦添市教育委員会	浦添市長	中国産陶磁器片、瓦片 他 {35箱}	浦添市教育委員会
16	石川テラアブ洞遺跡	R3.12.16	沖縄県立博物館・美術館	個人	土器、人骨 {1箱}	沖縄県立博物館・美術館
17	大工廻八所集落跡A・B地点	R4.6.13～ R5.7.12	沖縄県立埋蔵文化財センター	沖縄防衛局長	土器、石器、石材、陶磁器、ガラス玉、獣魚骨等 {84箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
18	武芸洞遺跡	H23.7.26～ 8.10	沖縄県立博物館・美術館	株式会社 南都代表取締役	土器、陶器、貝類、動物骨 {1箱}	沖縄県立博物館・美術館
19	サキタリ洞遺跡	H21.11.22～ R4.12.9	沖縄県立博物館・美術館	株式会社 南都代表取締役	土器、陶器、石器、貝類、動物骨、人骨、ガラス製品、古銭、金属製品等 {142箱}	沖縄県立博物館・美術館
20	桴海古墓群	R5.7.31	石垣市教育委員会	石垣市	土器片、陶磁器片、金属製品、石製品、自然遺物(人骨含む) {22箱}	石垣市教育委員会

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
21	今帰仁城跡	R4. 4. 11～ R5. 2. 24	今帰仁村教育委員会	今帰仁村長	陶磁器片、土器片、古銭、装飾品、自然遺物 {5箱}	今帰仁村教育委員会
22	勢理客中道原洞穴遺跡	R4. 6. 3～ 10. 30	今帰仁村教育委員会	個人	土器片、人骨片 {1箱}	今帰仁村教育委員会
23	普天満宮洞穴遺跡	R5. 8. 20	沖縄国際大学	普天満宮	人工遺物(土器、貝製品、陶磁器など)、自然遺物(貝類遺体、脊椎動物遺体、炭化物) {6箱}	沖縄国際大学
24	浜元古墓群	H31. 3. 5	本部町教育委員会	本部町	木棺、石棺、陶棺 {20個}	本部町教育委員会
25	野嵩スディバナピラ石畳道	R5. 9. 25	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	沖縄産陶器、本土産陶器、瓦など {4箱}	宜野湾市教育委員会
26	新城上殿遺跡	R5. 9. 19	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	青磁、白磁、陶器、獣骨など {1箱}	宜野湾市教育委員会
27	宜野湾並松街道	H30. 3. 24	宜野湾市教育委員会	株式会社エミネンス	切株 {1点}	宜野湾市教育委員会
28	糸数城跡	R5. 8. 21～ 10. 19	南城市教育委員会	南城市長	陶磁器、土器、獣骨等 {1箱}	南城市教育委員会
29	安和与那川原遺跡	R5. 7. 24～ 10. 27	名護市教育委員会	個人	土器、貝等 {1箱}	名護市教育委員会
30	クニンドー遺跡、津嘉山古島遺跡、仲間村跡	R2. 12. 22～R3. 2. 26 R3. 10. 7～R4. 3. 30	南風原町教育委員会	個人	陶磁器(中国産・本土産・沖縄産陶器)、土器、金属製品、沖縄戦関連遺物(銅線、葉きょう)など {6箱}	南風原町教育委員会
31	中城御殿跡	R5. 7. 2～ 11. 30	沖縄県教育委員会	沖縄県知事	陶磁器、瓦等 {22箱}	沖縄県教育委員会
32	澤川原遺物散布地	R6. 1. 9	南城市教育委員会	個人	沖縄産陶器2点、青磁1点 {1箱}	南城市教育委員会
33	字銭田地先	R5. 11. 2～ 11. 6	琉球大学国際地域創造学部	個人	土器、自然遺物ほか {1箱}	琉球大学国際地域創造学部
34	大浦崎収容所跡	R5. 11. 3	株式会社パスコ	沖縄防衛局長	土器、石器、陶磁器等 {7箱}	株式会社パスコ
35	真栄里宮鳥トーチカ跡	R5. 10. 6	石垣市教育委員会	株式会社サンエー	薬莖、砲弾の破片、自然遺物 {6箱}	石垣市教育委員会
36	前田・経塚近世墓群	R5. 9. 12～ R6. 1. 19	浦添市教育委員会	浦添市長	蔵骨器、金属製鍋、蔵骨器片、その他陶磁器、人骨等 {45箱}	浦添市教育委員会
37	根謝銘城跡	R5. 11. 13～ R6. 1. 17	大宜味村教育委員会	大宜味村長	土器、陶器、磁器、石器、獣魚骨、貝、鉄製品等 {1箱}	大宜味村教育委員会
38	ヤニバマ遺物散布地	R5. 8. 1～ R6. 1. 19	沖縄県立埋蔵文化財センター	沖縄防衛局長	土器、石器、陶磁器、貝製品、獣魚骨、貝類等 {42箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
39	旧海軍司令部壕	R6. 1. 20～ R6. 1. 28	特定非営利活動法人 空援隊	一般社団法人沖縄観光コンベンションビューロー	金属部品、通信用部品、瓶、生活用品等 {9箱}	特定非営利活動法人 空援隊
40	沖縄県鉄道与那原駅跡	R5. 12. 4～ 12. 28	与那国町教育委員会	与那原町長	近代遺物等 {7箱}	与那国町教育委員会
41	伊佐上原第三遺跡、伊佐上原南遺跡(普天間飛行場内)	R5. 9. 22～ R6. 3. 15	沖縄県立埋蔵文化財センター	沖縄防衛局長	土器、石器、陶磁器等 {4箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
42	嘉陽上グスク	R5. 6. 27～ 12. 28	名護市教育委員会	嘉陽区個人	土器、石器、陶器等 {1箱}	名護市教育委員会

### (5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	勝連城跡	①R1.9.1～R2.3.31 ②R2.12.1～R3.3.31 ③R4.10.1～R5.1.31	うるま市教育委員会教育長	うるま市長	陶磁器、土器、瓦、石器、鉄製品、自然遺物 ① {10箱} ② {5箱} ③ {15箱}	うるま市教育委員会
2	ミノシン毛古墓群	R2.9.7～ R3.1.29	那覇市教育委員会教育長	沖縄総合事務局 南部国道事務所 長	沖縄産陶器・厨子甕破片・骨 など {4箱}	那覇市教育委員会
3	らくだ山戦争遺跡群A地点	R2.9.7～ R3.1.29	那覇市教育委員会教育長	沖縄総合事務局 南部国道事務所 長	沖縄産陶器・日本産磁器・ガラス瓶など {4箱}	那覇市教育委員会
4	らくだ山戦争遺跡群B地点	R2.9.7～ R3.1.30	那覇市教育委員会教育長	沖縄総合事務局 南部国道事務所 長	日本産磁器・厨子甕破片など {3箱}	日本産磁器・厨子甕破片など {3箱}
5	鏡水水溜屋原B遺跡	R3.10.20～ R4.1.13	那覇市教育委員会教育長	沖縄総合事務局 南部国道事務所 長	沖縄産陶器・土器・石器など {2箱}	沖縄産陶器・土器・石器など {2箱}
6	首里山川の石畳道	R3.3.8～ R3.3.26	那覇市教育委員会教育長	沖縄総合事務局 南部国道事務所 長	沖縄産陶器・本土産磁器 {2箱}	沖縄産陶器・本土産磁器 {2箱}
7	西村跡	R4.1.11～ R4.1.31	那覇市教育委員会教育長	沖縄総合事務局 南部国道事務所 長	沖縄産陶器・日本産陶器・中国産磁器・瓦・獣骨・古銭など {4箱}	沖縄産陶器・日本産陶器・中国産磁器・瓦・獣骨・古銭など {4箱}
8	宮城平田原古墓群	R4.9.20～ R5.1.30	那覇市教育委員会教育長	沖縄総合事務局 南部国道事務所 長	厨子甕（蔵骨器）の破片など {25箱}	厨子甕（蔵骨器）の破片など {25箱}
9	宮城平田原壕群	R4.9.20～ R5.1.30	那覇市教育委員会教育長	沖縄総合事務局 南部国道事務所 長	日本産磁器、沖縄産陶器など {24箱}	日本産磁器、沖縄産陶器など {24箱}

### (6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	所在市町村	調査主体者・担当者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
1	大浦崎収容所跡	名護市	(株) パスコ沖縄支店	その他開発 (在沖米軍施設)	その他 (近代)
2	普天満宮洞穴遺跡	宜野湾市	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科 考古学専任教員 新里 貴之	学術研究	縄文、グスク御嶽等
3	(場所) 久米島町字銭田西銭田原615-1	久米島町	国立大学法人琉球大学国際地域創造学部 講師 主税 英徳	学術研究	不明、不明



(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	所在市町村	調 査 主 体	調査担当者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
1	与儀橋（新栄橋）	那覇市	那覇市教育委員会	玉城安明	道路	その他（近代）
2	東兼久原貝塚	名護市	名護市教育委員会	横手伸太郎	住宅	弥生～平安
3	ヤニバマ遺物散布地	名護市	沖縄県教育委員会	大堀皓平 奥平大貴	その他開発（米軍施設建設）	縄文～平安
4	野嵩スディバナピラ石畳道	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤圭	保存目的の範囲内容確認調査	近世
5	下地原洞穴遺跡	久米島町	沖縄県立博物館・美術館	澤浦亮平	学術研究	旧石器 グスク
6	勢理客中道原洞穴遺跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	玉城靖	保存目的の範囲内容確認調査	グスク
7	喜友名下原第二遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	末吉飛鳥	その他の開発（不発弾探査）	グスク
8	中城御殿跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	羽方誠・仲座久宜	保存目的の範囲内容確認調査	近世・近代
9	喜舎場西原近世墓群	北中城	北中城村教育委員会	小橋川剛	その他開発（米軍基地）	近世
10	白比川原遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	山城安生	その他開発（支障除去）	グスク・近世・ 近現代
11	桴海古墓群	石垣市	石垣市教育委員会	宮良長誠	観光開発	グスク～近世
12	前原遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	米須菜摘美	その他開発	縄文、古墳～平安並行
13	前田・経塚近世墓群	浦添市	浦添市教育委員会	瑞慶覧長順	区画整理	近世・近代
14	伊佐上原南遺跡、伊佐上原第三遺跡	宜野湾市	沖縄県立埋蔵文化財センター	知念隆博、廣岡 峻、久場大暉	その他開発（跡地利用）	縄文・中世・近 世・近代
15	首里旧金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	天久瑞香	道路	近世・近代
16	大浦崎収容所跡	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	その他の開発（在日米軍施設）	近現代
17	喜舎場西原近世墓群	北中城村	北中城村教育委員会	小橋川剛	その他の開発（米軍施設）	近世
18	安和与那川原遺跡	名護市	名護市教育委員会	佐渡山理沙	その他開発（冷凍施設）	縄文、中世（グ スク）
19	正徳原古墓群	北谷町	北谷町教育委員会	米須菜摘美	その他の建物	近世・近代
20	真栄里宮鳥トーチカ跡	石垣市	石垣市教育委員会	金城由美	その他の開発（商業施設）	近代・戦争遺跡
21	根謝銘城跡	大宜味村	大宜味村教育委員会	寄合龍巳	保存目的の範囲内容確認調査	グスク
22	城間第二洞穴遺跡	浦添市	浦添市教育委員会	佐伯信之	その他の建物（倉庫）	縄文、古墳～平安
23	大工廻上与那原遺跡	沖縄市	沖縄市教育委員会	比嘉二規	その他の開発（基地移設）	グスク
24	兼久中原遺跡	嘉手納町	嘉手納町教育委員会	我如古千里	その他の建物（駐車場の新設）	縄文、グスク、 近世

項目 No.	遺 跡 名	所在市町村	調 査 主 体	調査担当者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
25	具志頭殿内跡	那覇市	那覇市教育委員会	知念 覚	その他の建物（マンション）	グスク、近世・近代
26	沖縄県鉄道与那原駅跡	与那原町	与那原町教育委員会	與那嶺明恵	保存目的の範囲内容確認調査	近代
27	安谷屋古馬上原近世墓群	北中城村	北中城村教育委員会	小橋川剛	その他開発（米軍施設）	近世
28	西村跡	那覇市	那覇市教育委員会	山道 峻	住宅	グスク～近代
29	真志喜製立原古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤 圭	墓地	近世
30	大浦崎収容所跡	名護市	名護市教育委員会	真栄田義人	その他の開発（基地施設）	近現代
31	石川テラアブ洞遺跡	本部町	沖縄県立博物館・美術館	山崎真治	学術研究	縄文
32	瑞慶覧東後原近世墓群B地区	北中城村	北中城村教育委員会	小橋川剛	その他の開発（米軍施設）	近世
33	思原遺跡	名護市	名護市教育委員会	佐渡山理沙	その他開発（在日米軍施設）	弥生、古墳～平安、近世

### （８）独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 文化財担当者専門研修参加者一覧

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

項目 No.	研 修 名	期 間	参 加 者	所 属
1	文化財担当者専門研修 「遺跡地図・GIS課程」※オンライン	令和5年7月24日～ 7月28日	宮城 智浩	名護市教育委員会
2	文化財担当者専門研修 「遺跡地図・GIS課程」※オンライン	令和5年7月24日～ 7月28日	山道 峻	那覇市役所
3	文化財担当者専門研修 「遺跡地図・GIS課程」※オンライン	令和5年7月24日～ 7月28日	狩俣 優里	那覇市役所
4	文化財担当者専門研修 「遺跡地図・GIS課程」※オンライン	令和5年7月24日～ 7月28日	古瀬 岳洋	竹富町教育委員会
5	文化財担当者専門研修 「文化財三次元計測課程」	令和5年10月2日～ 10月6日	狩俣 優里	那覇市役所
6	文化財担当者専門研修 「文化財三次元計測課程」	令和5年10月2日～ 10月6日	横山 幸平	南城市教育委員会
7	文化財担当者専門研修 「文化財写真課程」	令和5年11月20日～ 12月1日	古瀬 岳洋	竹富町教育委員会
8	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	令和5年12月4日～ 12月8日	中村 圭吾	南城市教育委員会
9	文化財担当者専門研修 「報告書デジタル作成課程」	令和5年12月11日～ 12月15日	中村 圭吾	南城市教育委員会

### （９）鉱業権法第24条の規定に基づく協議

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

項目 No.	出 願 地	出 願 番 号	鉱種名	出願種類	回 答 内 容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
		(なし)				